

会 議 録

会 議 の 名 称	令和２年度第２回行田市市民公益活動推進委員会
開 催 日 時	令和２年１０月１３日（火）開会１０時００分・閉会１０時４５分
開 催 場 所	コミュニティセンターみずしろ １階ギャラリー
出 席 者 氏 名	生沢弘幸 平間道代 山口尚美 小池佐栄子 金原二郎 島田晴義 松井秀二郎 石橋和夫 澤田春雄 智田輝史（代理：草木くみ子） 田口泰大 小林健 田尻要 阿南健一 横倉喜和 瀬場一隆（代理：須賀章博） ※敬称略
欠 席 者 氏 名	羽鳥優治 今村武蔵 石川忠彦 ※敬称略
事 務 局	地域づくり支援課：風間課長、内沼主査、黒澤主任 及び市民活動サポートセンター職員１名
会 議 内 容	１ 委員長挨拶 ２ 議 事 (1)行田市市民活動やる気応援助成金について (2)みずしろフェスタについて (3)その他
会 議 資 料	(1) 資料１ 行田市市民活動やる気応援助成金交付要綱 (2) 資料２ 令和２年度行田市市民活動やる気応援助成金募集要項 (3) 資料３ 行田市市民活動やる気応援助成金の申請取扱いについて
その他必要事項	傍聴人なし

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会 委 員 長 司 会 議 長 事 務 局 議 長	○ 開 会 ・開会を宣言 ・会議成立の旨の報告（過半数の委員の出席による） ・傍聴人なしの報告 など 1 委員長挨拶 ・あいさつ 2 議 事 ・要綱の規定により、会議の議長を委員長が務める旨の説明 (1) 行田市市民活動やる気応援助成金について ・資料 1、資料 2、資料 3 の説明。 ・市としては、資料 1 の交付要綱に基づいて助成金事務を行っている。今回内容の改正を検討するのは、資料 1 の別表第 1 第 3 条関係の対象団体、対象事業、対象経費、助成率、上限額、対象期間、交付制限の部分になり、過去 2 回の委員会でご意見をいただいている。前回 6 月の委員会で事務局案を提示したが、みなさんから多数の意見があった。事務局としては、みなさんの意見を反映した改正にしたいと考えるので、この場でもう一度話し合いをしていただきたいと思う。 ・意見はあるか。 ・説明すると、資料 1 の別表第 1 を私たちが使いやすいように変えていくという作業を過去 2 回の委員会で議論したけれど、最大公約数的なものがなく、決まっていない状況のまま今回に至っている。このままでいいというならば、このままなわけだが、ぜひもう少し使いやすいように変えていきたい。別表第 1 が資料 2 である応募される方がご覧になるリーフレットに反映されるので、ここをどう変えていくかご意見をいただきたい。 ・前回言ったからと遠慮される必要は全くない。 ・しばらく遠ざかっていたので、何となく思い出していただけるか。対象事業や対象経費についてはこういうところにも使いた

議 長 事 務 局	いとか、助成率は今 2 分の 1 だがもう少し上げたほうがいいという話もでていたかと思う。上限については現在スタートアップが 5 万円、新たな取り組みが 10 万円。他にも期間とか交付制限についてもいろいろとご意見があったように記憶している。 ・ここでこの人数が集まって議論を進めるのも勿論よいのだが、もしよろしければ、議長提案としてワーキンググループのようなかたちで少人数が集まって素案を作成し、委員会に諮るというのはいかがか。まだ何名でということも決めていないが、イメージ的には 4, 5 名で集まって事務局も巻き込みながらフットワークよく検討するというかたちはどうかと思う。 — 拍手とともに賛成の声 — ・賛成というご意見ありがとうございます。 ・どなたかというのは改めて考えさせていただきたい。勿論、今この場でぜひ私がという方がいたら、手を挙げてもらったり、この会議の後に声をかけてもらっても構わない。 ・この場ではなかなか議論が進まないようなので、まずは少人数のワーキンググループで検討を進めさせていただこうと思う。 ・議題 1 が終わったので、続いて議題 2 のみずしろフェスタについて事務局より説明をお願いします。 ・みずしろフェスタについて、経過を申し上げさせていただく。6 月にみずしろフェスタ実行委員で集まり、11 月の開催について話し合いをした。その当時はイベントを開催するということが難しい状況で今年度は中止することが決まった。委員さんの中から来年度はフェスタがはじまって 10 年目になるので、大々的なことをやりたいという意見が出た。 ・今年度やるやらないの話の中、今はリモートだよ、オンラインだよ、もしやるとしたらオンライン会議を配信したいという意見が出た。リモートについてやっている方とやっていない方の温度差が大きく、その話題についていけない人もいた。実際、自分もやったことがないのでイメージがわかなかった。
---	---

石橋委員	・そこで委員さんに提案し、準備会を ZOOM（ズーム）を使って行うことにした。自分たちが慣れていけば新しいフェスタのやり方が見つかるかもしれないと期待を込めて。 ・これからは人を集めるイベントは制限がかかってくる。人を集めないでやるイベント、もしくは自分たちが外に出て市民活動を広げることができるイベントができたらいいなと思い、8月、10月と皆さんにパソコンを持参してもらい、パソコンの中で会話をしながら準備会をしている。 ・来年度のフェスタは、大きくいろんなことをやりたいと思っているので、準備会のことを皆さんに知ってもらい、来年度手伝ってもらえると、実行委員会として心強いなと思う。この委員会の委員さんの中にも実行委員として携わっていただいている方がいるので、順番に準備会の様子を話していただきたい。石橋さん、松井さん、島田さんの順番でお願いしたい。 ・NPO 法人 CIL ひこうせんの石橋です。今年のみずしろフェスタの実行委員長をやることになったが、コロナの関係で中止が決まり、来年度に向けた準備会を行っている。できることからやっっていこうということで、何回か WEB（ウェブ）会議をやり慣れてきたような感じはある。来年、これからコロナの影響がどうなっていくのか本当に未知だが、各団体の特徴を聞いたり、ホームページを作成して発信したり、問題課題はあるけれど、検討していきたいと思う。
松井委員	・行田ゼリーフライ研究会の松井です。5、6年実行委員長をやらせてもらったが、今年は石橋さんに引き受けてもらったところである。個人的にはパネル展示でもいいからやらないかと提案したのだが、皆さんの意見が中止ということだったので、今年は中止が決定した。私が実行委員長を務めた5、6年を振り返ると、この1年くらいは行政のイベントではなく、市民活動団体が自分たちの活動のお披露目の場にしていきたいよねということが少し浸透した感じはあるけれど、まだまだ寄りかかっている

島 田 委 員	部分があるかな、もっと市民活動を活発な感じにしていかなと思う。コロナの影響もあり、市民活動ってなんだろうと悩んだり、個人的に沈んでいるなという感じがする。 ・ ZOOM 会議の話がでたが、やっと慣れてきて実質的な会議、話し合いができるようなところまで来たかなという感じ。平均年齢がだいぶ高いので、高齢者が自分たちで ZOOM 会議をするのはとても楽しいと思いながら参加している。 ・ 行田観光ボランティアの島田です。恥ずかしい話だが、ZOOM 会議というものを初めて知った。最初はどのようなものかなという感じではあったが、サポセンその他の方の指導があり、いろいろな説明を受けて、パソコンそれからスマホでもできることがわかった。私は 70 歳でパソコンもスマホも長けているわけではないので心配だったが、2 回ほど ZOOM 会議に参加させてもらい、これからはこのような会議のやり方が必要だなと感じている。 ・ 前回の会議では、各団体の紹介があった。他の団体のことをほとんど知らなかったので、活動の目的や去年のフェスタではどんなことをやったとか聞くことができ大変参考になった。 ・ ZOOM 会議は家とサポセン、あるいは家と家という遠隔で会議ができる。これからはどんどんこのような会議のやり方が広がっていくのではないかなと思う。
事 務 局	・ 委員の皆様ありがとうございます。やってよかったという方がいたり、自分もやってみて、何か新しいものを見つけられるかもしれないと感じている。 ・ 前回の会議で、実際に聞いてみないとわからない、活動の裏側を聞くことができた。それにより、A 団体と B 団体が一緒に何かできるかもしれないという新たな発見もあった。例えばやる気応援助成金について、1 団体ではなく 2 団体で助成金を使って何かできないかなと考えたりした。
議 長	・ ありがとうございます。では先に進みます。 (3)その他について

事 務 局 OB 矢吹氏	・オブザーバーとして参加いただいている経済産業省関東経済産業局産業部・流通サービス産業課の矢吹様より一言いただきたい。 ・経済産業省関東経済産業局産業部流通サービス産業課の矢吹です。流通サービス産業課というとわかりにくいところですが、主に過疎地のコミュニティ機能が衰退縮小している地方などで試行錯誤されている取組みを取材している。例えば、群馬県のちょっと山の方とか、長野県、新潟県の人口減少しているコミュニティにスポットを当てて課題、問題を抱えている事例などを分析するという取組みをしている。 ・行田市はしっかりとしたまちづくり、地域の基盤があり、大きな地域なので、事前に拝見した活動基本計画にあるとおり、協働のまちづくりを積極的にされているところだと思う。今日、市民活動、やる気活力のあるコミュニティの取組をじかにお聞きし、勉強させていただいた。皆様の日頃の活動での熱意や思い、建設的なやり取りをする場を見ることができた。今日いただいた資料や、やり取りをされた情報を、もう少し規模の小さい地方で困っている過疎地の、私たちが勉強している小さなコミュニティについて何かヒントがあるのではないかと思います、今後活用させていただきたい。 ・チラシを用いてイベントの案内。
事 務 局 OB もの大大学院生	・ものづくり大学大学院生から一言お願いします。 ・ものづくり大学大学院の新井です。ものづくり大学田尻研究室では、行田市と地域の市民活動のみならず、公共交通や観光振興に関して様々な取組みをしている。力不足もあり、まだうまく進められない部分もあるとは思っているが、地域の大学の一員として、地域の大学生として何かできることはないかと模索しながら、行田市役所の皆様、地域の皆様とともに、いろいろな活動に挑戦していきたい。よろしくお願いします。
事 務 局	・みずしろフェスタのひとつの柱として、高校生大学生を巻き込みたいと考えているので、その際は協力していただけたらと思う。

澤田委員 議長	・他の委員から何かあるか。 ・古代蓮の里ホテルの会の澤田です。今、コロナの影響もありオンライン化が進み変革の時期に来ていると思う。今後は教えてもらいながら、自主的にも勉強し、パソコン操作等努力していきたいと思う。 ・他に何かあるか。 ・いずれこの委員会もオンラインでということになるかもしれない。大学でもオンライン授業と対面授業を同時に進めており、その良さや悪さを思い知らされ試行錯誤しているところである。うまく使い分けながら取り入れていくことができればよいと思う。 ・以上で本日の議題は終了となる。これにて職を解かせていただく。 ○ 閉 会 ・閉会を宣言
-----------------------	---